

伝えたい！
私の街の
産業ニュース

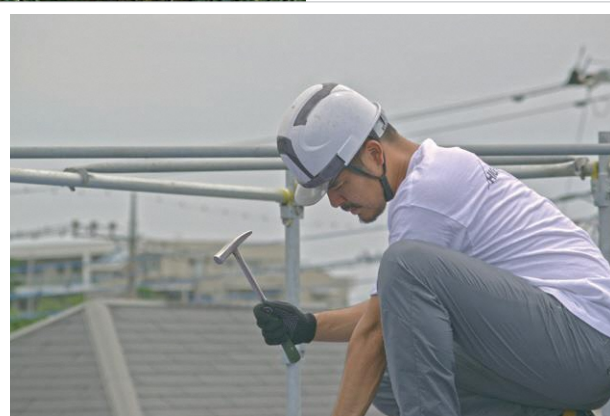
令和7年
2月発行
vol.

36



100年の歴史と若き情熱が紡ぐ、

次世代の建築板金工事業



HIGH ROOF TOKYO

代表 内野 和博（うちの かずひろ）

住所：西東京市芝久保町 5-2-17-8

TEL：042-428-0280

HP：https://high-roof-tokyo.yane.pro

HIGH ROOF TOKYO

検索



大正12年から続く歴史と 確かな技術力

西東京市に屋根、外壁、雨樋、厨房など建築板金工事のあらゆるニーズに対応している企業がある。工のエロオノ・トキョだ。代表の内野和博氏は「近年、質の低い屋根工事業社が増える中、ドローンを使用し、点検することで、お客様が納得できる確かな品質と適正な価格で施工したい。」と語る。内野氏は大正12年創業の建築板金業を営む家系で育ち、10代で修行に出た後、実家の会社に戻り、板金加工技術を習得した。寺社仏閣の複雑な形状の金属板屋根を手作業で施工した実績や商業施設のデザイン性と緻密さが求められる内装・厨房の板金加工を行った経験を活かし、令和5年に独立。確かな技術力、ホームページやSNSを活用した積極的な営業、全国の屋根工事業社とのネットワークの構築により、受注機会を拡大し成長を遂げている。

伝統と革新が融合した 新しい屋根工事のカタチ

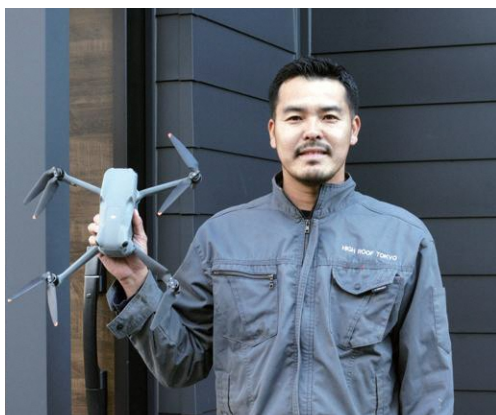
HIGH ROOF TOKYOは、西東京市を中心に多摩地域で建築板金工事を行っている。屋根・外壁の点検サービスでは、ドローンを活用しており、高画質な映像でお客様がリアルタイムに屋根の状態を確認できることで信頼を得て、安定した受注へとつながっている。また、豊洲の千客万来（江戸深川屋）や隈研吾氏設計の和國商店など、特殊なデザインに対応する高度な金属板金技術が求められる工事にもかわり、技術力を高めてきた。内野氏は「伝統技術の研鑽

と新しい技術を導入することによって、お客様との信頼関係を第一に、地域の方々の暮らしを支えるパートナーでありたい。建物の大切な部分に関わる仕事だからこそ、誠心誠意向き合い真摯に対応していきたい。」と語る。

社会貢献と建築板金

全体の発展を目指して

長年にわたり建築板金工事に携わってきた内野氏は、職人の減少による伝統技術の消失を危惧している。熟練技術者の育成には十数年を要するため、後継者不足も深刻だ。「今後は独自のネットワークを活用して建築板金工事を行う社員を増やし、技術やノウハウを伝承していきたい。」と語る。また、東日本大震災の被災地で屋根破損が多発したことを受け、屋根点検費用の寄付を行うなど社会貢献にも積極的に取り組んでいる。内野氏は「建築板金を通じて社会貢献にも取り組み、その必要性や価値をより多くの人に広め、業界全体の未来を明るくしていきたい。」と語る。HIGH ROOF TOKYOは、建築板金技術の承継と発展を見据え、西東京市を拠点として、今日もお客様に安心と信頼を届け成長を続ける。



代表：内野 和博



(株)エフエム西東京
TEL：042-451-2630
MAIL:842fm@842fm.com

田無駅前の大画面広告ビジョン

アスタビジョン

ASTA VISION

匠navi 限定 長期(半年以上)契約の場合
20%OFF

通常価格 50,000円

40,000円 (月額) (税別)

(1時間/4回放送 ※15秒広告の場合)



※既にご利用中の事業者はご利用できません